


平成26年度
乳用種初生牛の経営に関する調査報告書

平成27年2月
 独立行政法人農畜産業振興機構

【要約版】

1 調査目的と調査対象経営戸数

乳用種初生牛については、生産実態のデータが非常に少ないことから、乳用種初生牛の価格形成要因について生産コスト、経営動向等を総合的に調査分析し、肉用子牛生産者補給金制度の円滑な運用に必要な資料の整備を図ることを目的として調査を実施した。

調査対象経営を選定するに当たり、畜産統計（農林水産省統計情報部）における乳用牛飼養戸数及び頭数等を勘案して10道県を調査対象とし、戸数については、北海道75戸（46.3%）、9県（岩手県、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、長野県、兵庫県、熊本県）87戸の合計162戸を選定した。

なお、有効回答数は162戸のうち161戸であった。

2 調査対象経営の概要

調査対象経営1戸当たりの経産牛年間平均飼養頭数は54.9頭で、北海道は64.2頭、9県は46.8頭となった。

年間生乳生産量（平成25年度）は、1戸当たり平均465.2トンで、北海道は512.5トン、9県は423.4トンとなった。これを経産牛1頭当たりの年間生乳生産量にすると、全体は8,464kg、北海道7,982kg、9県9,042kgとなり、9県が北海道を1,061kg（13.3%）上回っている。

年間分娩頭数については、1戸当たりの平均分娩総頭数は49.4頭で、北海道57.2頭、9県42.7頭となり、北海道は9県に比べ14.5頭（34.0%）分娩頭数が多い。

乳用種子牛の販売について2か月齢未満の乳用種雄子牛をみると、市場で販売された1戸当たりの平均販売頭数は、全体で16.1頭、北海道19.0頭、9県14.1頭となっている。全体の1頭当たり平均販売日齢は22.7日齢、1頭当たり平均販売価格は48,606円となった。北海道については同12.3日齢、同50,002円、9県では32.1日齢、47,343円となり、9県は北海道より19日以上長く飼養しているにもかかわらず価格は北海道より低い価格での取引となっている。

相対取引の場合は、全体で1頭当たり平均販売日齢14.8日齢、1頭当たり販売価格35,469円となり、北海道については、同14.1日齢、同38,892円、9県は同17.5日齢、同22,473円となっている。

3 酪農部門収入

（1）地域別

調査対象経営における平成25年度の酪農部門収入は、全体平均で総額5,101万円となり、その主

な内訳は、「生乳販売」4,388万円(86.0%)、「子牛販売」270万円(5.3%)、「その他」443万円(8.7%)となっている。

北海道は総額5,279万円で、「生乳販売」4,394万円(83.2%)、「その他」373万円(7.1%)、「子牛販売」262万円(5.0%)となった。9県では総額4,947万円で、「生乳販売」4,383万円(88.6%)、「子牛販売」278万円(5.6%)、「その他」152万円(3.1%)となった。9県について北海道と比較すると「生乳販売」、「子牛販売」は同水準ではあるが、各種補助金を含めた「その他」で221万円、さらに「育成牛販売」で100万円以上の差が生じており、総額においても300万円以上低い額となった。

経産牛1頭当たり酪農部門収入は、全体で92.9万円、北海道は82.2万円、9県は105.7万円となっており、北海道は9県より23.5万円低い。

酪農部門収入に対する乳用種初生牛販売収入の割合は、全体では1.5%で78万円となり、北海道は2.0%で103万円、9県では1.1%で56万円となっている。

(2) 経産牛飼養頭数規模別

平成25年度の酪農部門収入を規模別で見ると、最も収入額が多いのは「100頭以上」層で、1戸当たり14,430万円である。最も収入額が少ない階層は「1～29頭」層で2,010万円となり、その差は12,420万円となっている。

北海道において最も収入額の多い「100頭以上」層は、1戸当たり13,454万円で、最も収入額の少ない「1～29頭」層は1,461万円で、その差は11,993万円となっている。9県において最も収入額が多い「80頭以上」層は1戸当たり12,530万円で、最も収入額の少ない「1～29頭」層は2,174万円となっており、その差は10,356万円となっている。

調査対象経営1戸当たり平均酪農部門収入は、全体で5,101万円となっているが、この額以上の収入となる階層は、全体では50頭以上の階層となっている。北海道における1戸当たり平均酪農収入は5,279万円で、この額以上の収入となる階層は80頭以上の階層となっている。9県の同収入は4,947万円で、この額以上の収入となる階層は50頭以上の階層となっている。

経産牛1頭当たり酪農部門収入についてみると、全体で最も収入が多い階層は「100頭以上」層で経産牛1頭当たり95.6万円となり、「80～99頭」は経産牛1頭当たり87.1万円で最も少ない額の階層となっている。

また、北海道は、全体平均の経産牛1頭当たり酪農部門収入92.9万円をすべての階層で下回る結果となった。

表 1 調査対象経営の酪農部門収入

(全体：161戸)

	生乳販売	子牛販売		育成牛販売	廃用牛等販売	その他	合計
			初生牛販売				
平均	4,388万円 (86.0%)	270万円 (5.3%)	78万円 (1.5%)	74万円 (1.5%)	114万円 (2.2%)	255万円 (5.0%)	5,101万円
1～29頭	1,766万円 (87.9%)	109万円 (5.4%)	28万円 (1.4%)	26万円 (1.3%)	31万円 (1.5%)	78万円 (3.9%)	2,010万円
30～49頭	3,122万円 (85.2%)	218万円 (5.9%)	59万円 (1.6%)	31万円 (0.9%)	94万円 (2.6%)	199万円 (5.4%)	3,664万円
50～79頭	4,810万円 (83.7%)	292万円 (5.1%)	99万円 (1.7%)	125万円 (2.2%)	141万円 (2.5%)	376万円 (6.5%)	5,744万円
80～99頭	6,582万円 (86.0%)	368万円 (4.8%)	115万円 (1.5%)	89万円 (1.2%)	158万円 (2.1%)	451万円 (5.9%)	7,648万円
100頭～	12,819万円 (88.8%)	750万円 (5.2%)	186万円 (1.3%)	187万円 (1.3%)	295万円 (2.1%)	379万円 (2.6%)	14,430万円

(北海道：75戸)

	生乳販売	子牛販売		育成牛販売	廃用牛等販売	その他	合計
			初生牛販売				
平均	4,394万円 (83.2%)	262万円 (5.0%)	103万円 (2.0%)	131万円 (2.5%)	119万円 (2.2%)	373万円 (7.1%)	5,279万円
0～29頭	1,106万円 (75.7%)	76万円 (5.2%)	30万円 (2.1%)	76万円 (5.2%)	38万円 (2.6%)	165万円 (11.3%)	1,461万円
30～49頭	2,628万円 (80.5%)	178万円 (5.5%)	76万円 (2.3%)	51万円 (1.5%)	108万円 (3.3%)	301万円 (9.2%)	3,266万円
50～79頭	4,288万円 (82.9%)	267万円 (5.2%)	107万円 (2.1%)	169万円 (3.3%)	99万円 (1.9%)	349万円 (6.7%)	5,172万円
80～99頭	5,795万円 (82.0%)	405万円 (5.7%)	133万円 (1.9%)	122万円 (1.7%)	144万円 (2.0%)	606万円 (8.6%)	7,071万円
100頭～	11,731万円 (87.2%)	519万円 (3.9%)	208万円 (1.5%)	300万円 (2.2%)	278万円 (2.1%)	626万円 (4.6%)	13,454万円

(9県：81戸)

	生乳販売	子牛販売		育成牛販売	廃用牛等販売	その他	合計
			初生牛販売				
平均	4,383万円 (88.6%)	278万円 (5.6%)	56万円 (1.1%)	23万円 (0.5%)	111万円 (2.2%)	152万円 (3.1%)	4,947万円
1～29頭	1,963万円 (90.3%)	119万円 (5.5%)	28万円 (1.3%)	11万円 (0.5%)	29万円 (1.3%)	52万円 (2.4%)	2,174万円
30～49頭	3,496万円 (88.2%)	248万円 (6.3%)	45万円 (1.1%)	17万円 (0.4%)	83万円 (2.1%)	121万円 (3.1%)	3,965万円
50～79頭	5,692万円 (84.8%)	333万円 (5.0%)	86万円 (1.3%)	51万円 (0.8%)	212万円 (3.2%)	423万円 (6.3%)	6,711万円
80頭～	11,419万円 (91.1%)	714万円 (5.7%)	122万円 (1.0%)	35万円 (0.3%)	256万円 (2.0%)	106万円 (0.8%)	12,530万円

注) 9県では、経産牛頭数80頭以上を飼養している経営については「80頭以上」階層で一括処理した。

表2 経産牛1頭当たりの酪農部門収入額

	全体 (平均 92.9 万円)	北海道 (平均 82.2 万円)	9 県 (平均 105.7 万円)
1 頭～29 頭	92.6 万円	77.3 万円	96.2 万円
30 頭～49 頭	94.2 万円	80.8 万円	105.2 万円
50 頭～79 頭	92.6 万円	82.9 万円	109.1 万円
80 頭～99 頭	87.1 万円	78.7 万円	108.6 万円
100 頭～	95.6 万円	85.1 万円	

注) 9 県では、経産牛頭数 80 頭以上を飼養している経営については「80 頭以上」階層で一括処理した。

4 乳用種初生牛1頭当たり生産費

(1) 地域別

平成 25 年度における乳用種初生牛1頭当たり生産費は 13,172 円となった。主な内訳は「労働費」8,226 円 (62.5%)、「飼料費」2,334 円 (17.7%)、「生産管理費」955 円 (7.2%) となり、「労働費」と「飼料費」で 80%以上となっている。

平成 24 年度における生産費 12,303 円と比較すると平成 25 年度は 869 円の増額となっている。また、飼料価格の高騰が注目された「飼料費」については、平成 24 年度の 2,439 円と比較すると 105 円減額となっている。

地域別にみると、北海道では生産費が 12,419 円で、その内訳は「労働費」8,097 円 (65.2%)、「飼料費」2,007 円 (16.1%)、「生産管理費」749 円 (6.0%) となっている。9 県は生産費 13,829 円となり北海道に比べ 1,410 円高い。その要因は、「労働費」8,342 円 (60.3%)、「飼料費」2,620 円 (18.9%)、「生産管理費」1,133 円 (8.2%) が北海道より高く、特に労働費については労賃単価が高いことによる。

(2) 経産牛飼養頭数規模別

乳用種初生牛1頭当たり生産費を規模別にみると、1 頭当たりの生産費が最も高い階層は「80～99 頭」層で 14,664 円となり、前年度に比べ 248 円の増額となっている。

一方、生産費が最も低い階層は「100 頭以上」層で 11,083 円となり、前年度に比べ 634 円の増額となっている。生産費が最も高い階層と低い階層との差は 3,581 円となっている。

生産費は前年度に比べて全階層において高くなっている。その要因は、生産費の多くを占める「労働費」の増加によるためである。

北海道は、生産費が最も高い「80～99 頭」層で1頭当たり 13,804 円となったが、前年度同階層に比べて 2,270 円減額している。最も低い「100 頭以上」層は 10,672 円で、前年度同階層と比べて 1,612 円の増額となった。最も高い階層と低い階層との差額は 3,132 円となる。この結果では、頭数規模と生産費の間に相関は見られなかった。

9 県は、生産費が最も高い「1～29 頭」層で1頭当たり 14,068 円となったが、前年度同階層に比べて 1,080 円の増額となっている。最も低い「30～49 頭」層は 13,533 円で、前年度同階層と比べて 2,131 円の増額となった。最も高い階層と低い階層との差額は 535 円となる。9 県においても、頭数規模と生産費の間に相関は見られず、多頭数化は必ずしも生産費の削減につながらないようである。

表3 調査対象経営の乳用種初生牛1頭当たり生産費

(全体)

	労働費	飼料費	敷料費	獣医師料 医薬品費	水道光熱料 動力費	生産管理費	その他 資材費	生産費合計
平均	8,226 円 (62.5%)	2,334 円 (17.7%)	327 円 (2.5%)	749 円 (5.7%)	342 円 (2.6%)	955 円 (7.2%)	239 円 (1.8%)	13,172 円 (100.0%)
1～29 頭	8,616 円 (63.1%)	2,549 円 (18.7%)	193 円 (1.4%)	702 円 (5.1%)	392 円 (2.9%)	950 円 (7.0%)	247 円 (1.8%)	13,649 円 (100.0%)
30～49 頭	8,272 円 (63.8%)	2,155 円 (16.6%)	354 円 (2.7%)	867 円 (6.7%)	316 円 (2.4%)	796 円 (6.2%)	200 円 (1.6%)	12,960 円 (100.0%)
50～79 頭	8,590 円 (65.2%)	1,990 円 (15.1%)	459 円 (3.5%)	607 円 (4.6%)	217 円 (1.6%)	1,071 円 (8.1%)	251 円 (1.9%)	13,185 円 (100.0%)
80～99 頭	8,659 円 (59.0%)	2,819 円 (19.2%)	344 円 (2.4%)	733 円 (5.0%)	421 円 (2.9%)	1,434 円 (9.8%)	254 円 (1.7%)	14,664 円 (100.0%)
100 頭～	5,427 円 (49.0%)	2,961 円 (26.7%)	179 円 (1.6%)	900 円 (8.1%)	607 円 (5.5%)	705 円 (6.4%)	304 円 (2.7%)	11,083 円 (100.0%)

(北海道)

	労働費	飼料費	敷料費	獣医師料 医薬品費	水道光熱料 動力費	生産管理費	その他 資材費	生産費合計
平均	8,097 円 (65.2%)	2,007 円 (16.1%)	327 円 (2.6%)	690 円 (5.6%)	330 円 (2.7%)	749 円 (6.0%)	219 円 (1.8%)	12,419 円 (100.0%)
1～29 頭	9,298 円 (75.9%)	2,102 円 (17.2%)	184 円 (1.5%)	147 円 (1.2%)	103 円 (0.9%)	178 円 (1.3%)	238 円 (2.0%)	12,250 円 (100.0%)
30～49 頭	8,076 円 (66.2%)	1,771 円 (14.5%)	383 円 (3.1%)	852 円 (7.0%)	357 円 (2.9%)	583 円 (4.8%)	182 円 (1.5%)	12,204 円 (100.0%)
50～79 頭	8,765 円 (69.0%)	1,692 円 (13.3%)	389 円 (3.1%)	507 円 (4.0%)	252 円 (2.0%)	917 円 (7.2%)	183 円 (1.4%)	12,705 円 (100.0%)
80～99 頭	7,800 円 (56.5%)	2,983 円 (21.6%)	234 円 (1.7%)	801 円 (5.8%)	549 円 (4.0%)	1,202 円 (8.7%)	235 円 (1.7%)	13,804 円 (100.0%)
100 頭～	4,877 円 (45.7%)	2,507 円 (23.5%)	232 円 (2.2%)	1,350 円 (12.6%)	529 円 (5.0%)	774 円 (7.2%)	403 円 (3.8%)	10,672 円 (100.0%)

(9 県)

	労働費	飼料費	敷料費	獣医師料 医薬品費	水道光熱料 動力費	生産管理費	その他 資材費	生産費合計
平均	8,342 円 (60.3%)	2,620 円 (18.9%)	327 円 (2.4%)	800 円 (5.8%)	353 円 (2.6%)	1,133 円 (8.2%)	256 円 (1.8%)	13,829 円 (100.0%)
1~29 頭	8,412 円 (59.7%)	2,683 円 (19.0%)	195 円 (1.4%)	868 円 (6.2%)	478 円 (3.5%)	1,182 円 (8.4%)	250 円 (1.8%)	14,068 円 (100.0%)
30~49 頭	8,422 円 (62.2%)	2,446 円 (18.0%)	332 円 (2.5%)	878 円 (6.5%)	284 円 (2.1%)	958 円 (7.1%)	213 円 (1.6%)	13,533 円 (100.0%)
50~79 頭	8,297 円 (59.3%)	2,492 円 (17.8%)	577 円 (4.1%)	776 円 (5.6%)	157 円 (1.1%)	1,331 円 (9.5%)	365 円 (2.6%)	13,994 円 (100.0%)
80 頭~	7,998 円 (58.3%)	3,093 円 (22.6%)	306 円 (2.2%)	441 円 (3.2%)	475 円 (3.5%)	1,176 円 (8.6%)	225 円 (1.6%)	13,714 円 (100.0%)